

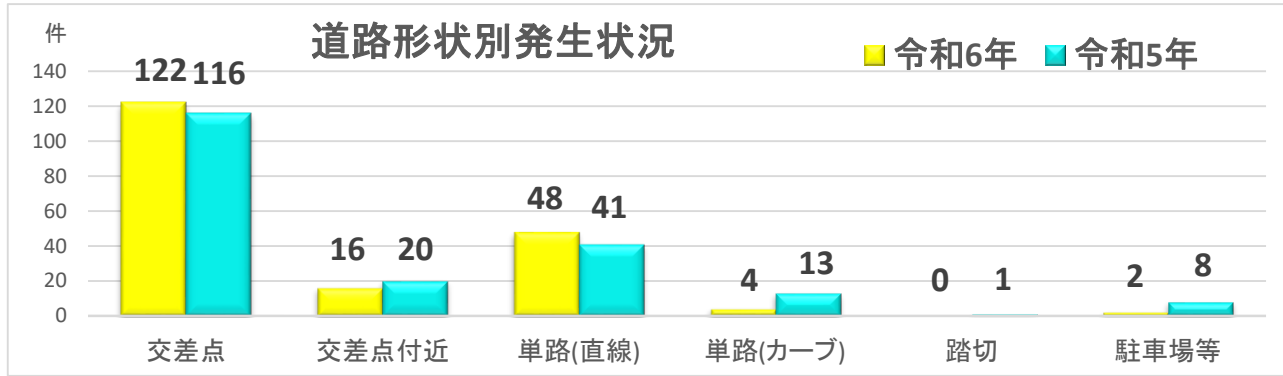
出雲市内の交通事故発生状況（令和6年12月末現在）

○出雲市内の人身事故件数

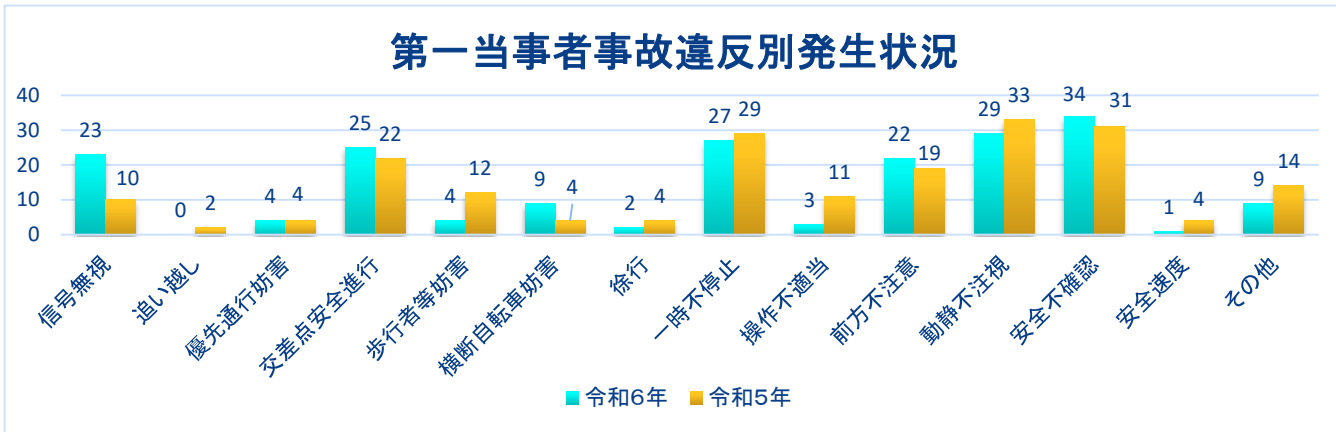
| 区分 年別対比 | 人身事故 件数 | 死者 | 傷者 | | |
|------------|------------|--------|------|-------|-------|
| | | | 重傷 | 軽傷 | 傷者計 |
| 令和6年 | 192 | 1 | 57 | 163 | 220 |
| 令和5年 | 199 | 3 | 56 | 165 | 221 |
| 増減数 | -7 | -2 | 1 | -2 | -1 |
| 増減率 | -3.5% | -66.7% | 1.8% | -1.2% | -0.5% |

※市内発生的人身交通事故 令和5年12月末：199件 令和4年12月末：230件

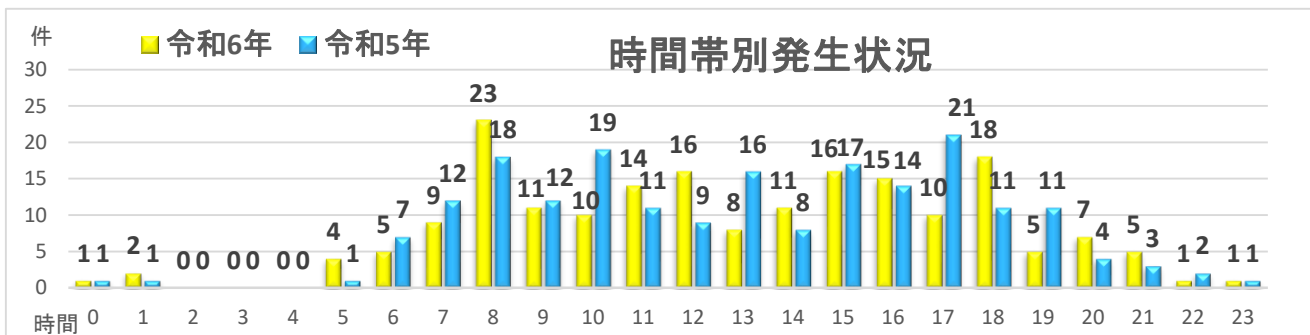
反射材を着用しましょう



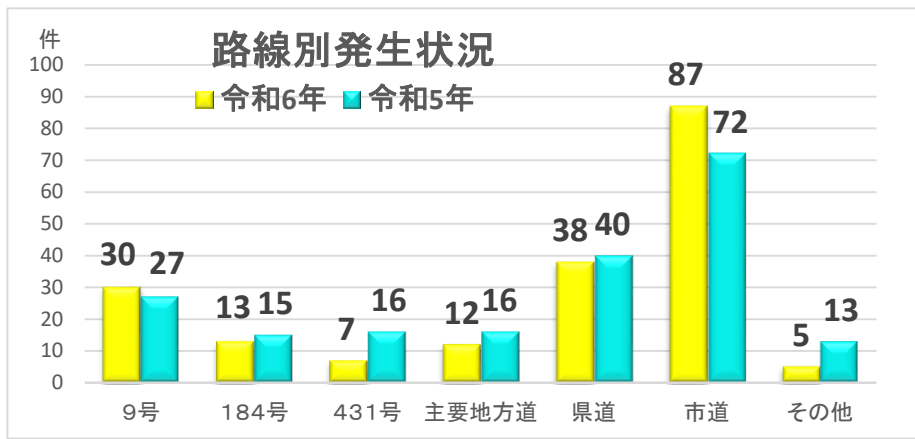
令和6年12月末現在、交差点での交通事故が多発しており、交通事故の約6割が交差点で発生しています。



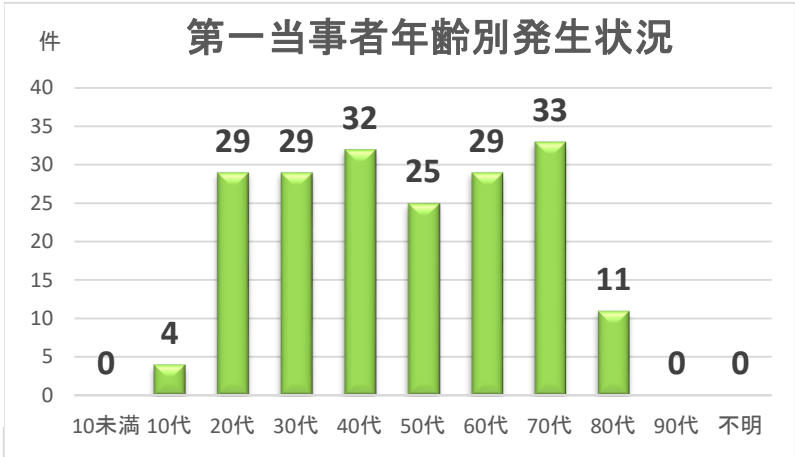
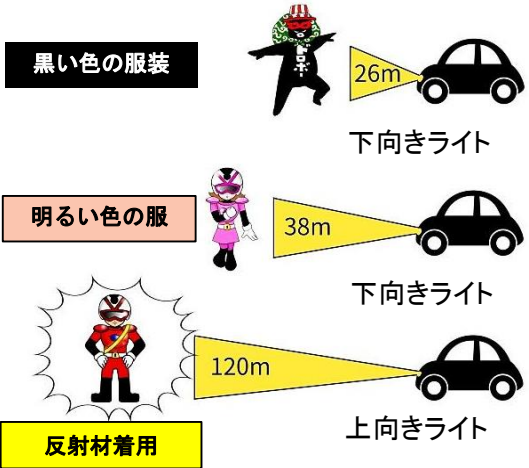
令和6年12月末現在、交通事故の発生原因で一番多いのは、「安全不確認」です。交差点では多段階一時停止を確実にし、周囲の安全を確認しましょう。



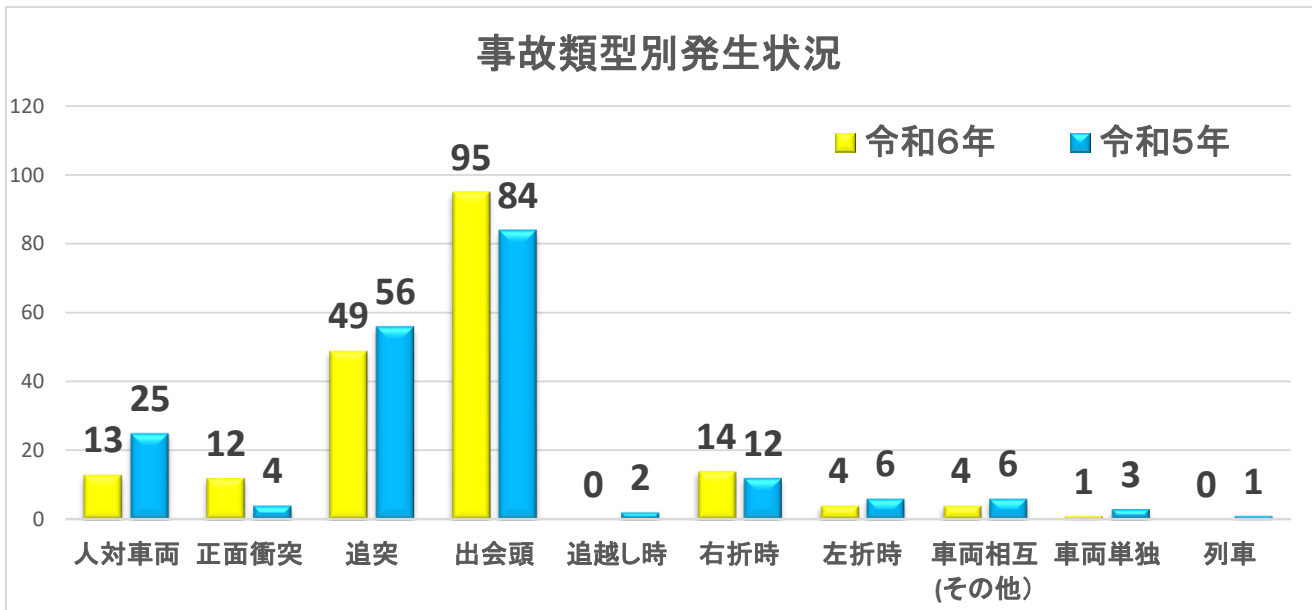
令和6年12月末現在、8時台に最も多く、次いで18時台に交通事故が多く発生しています。通勤・帰宅時は、心と時間に余裕を持って安全運転に心がけましょう。また、日中の行動が活発な時間帯も交通量が多いことから安全運転に心がけましょう。



令和6年12月末現在、市道での交通事故が多く発生しています。
慣れている道でも安全確認を怠らず、道路幅や交通量に応じた安全速度で運転しましょう。



令和6年12月末現在、70歳代、次いで40歳代が第一当事者の割合として多いという特徴が見られます。
運転に慣れている、慣れた道だからと油断せず、「車や歩行者が来るかもしれない」と危険を予測するとともに、基本を忘れず安全運転を心がけましょう。



令和6年12月末現在、交通事故の割合として一番多いのが「出会頭」で全体の約5割を占めています。
出会頭事故の原因として、主に「安全不確認」「一時不停止」などが挙げられます。
一時停止と安全確認を確実にいきましょう。

